

# 美術年報

1985



徳島県美術家協会



## は じ め に

第39回県展は関係各位のご協力で盛況裡に終わることができました。ご出品の皆様、役員の皆様に対して厚く御礼申し上げます。

入選率は40.4パーセントで前回に比べて少し厳選になりましたが、コンマ以下の差で厳選であったことについては殆ど変わりがなかったと言えます。写真部の25.8パーセントが最も厳選で、ついで洋画部の42.6パーセント、書道部の43.1パーセントの順で、全体的に作品の質は大変向上したと思います。第40回県展は記念展として行事を検討中ですが、作品も記念展にふさわしく力作をおよせ下さるようお願い致します。

県立美術館については本年度中に用地買収も終わり来年度より建築の設計にかかるとのことですが、美術館資料の収集につきましてはすでに本年より収集委員会が発足してこの1月までに3回の委員会が開かれました。私も委員の1人として参画しておりますが、末長く県民の誇りになるような内容にしなければなりませんので責任重大で、他の委員と共に慎重に選定に当たっております。

昭和60年3月

徳島県美術家協会会長 河 野 太 郎

# 徳島県美術家協会規約

昭和23.9.12	規約制定
32.7.14	新規約制定
33.4.29	規約一部改正
42.4.23	〃
46.4.29	〃
47.5.29	〃
49.8.22	〃
52.7.23	〃
56.5.5	〃
58.6.5	〃

## 第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島県立図書館内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし、県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫塑  
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ)展覧会 (ロ)講習会 (ハ)講演会  
(ニ)観光美術の振興 (ホ)その他必要な事業

## 第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長(2名)  
理 事(若干名) 監 事(2名)

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から4名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さら

に10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

## 第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部会長・委員(部会員数の3割以内)  
部監事(2名)

役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり1,500円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

## 第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,000円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

### (参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(現在の県立図書館)内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(図案は鬼塚副会長)

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~4名)によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫塑・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。

# 昭和58年度 事業報告

## (1) 総 会

- 昭和58年6月5日
- 県郷土文化会館 5F 第7会議室
- 昭和57年度事業報告及び決算報告
- 監査報告・承認
- 役員改選
- 昭和58年度事業計画及び予算審議
- その他

## (2) 理 事 会

- 昭和58年6月27日 第38回県美術展など
- 昭和58年11月28日 各種行事など
- 昭和58年12月21日 県展反省・次回展の検討など

## (3) 第38回県美術展

- 第1期 58.11.12～17 (県郷土文化会館)  
日本画・洋画・写真・彫塑・工芸・デザインの467点展示
- 第2期 58.11.19～23 (県郷土文化会館)  
書道の486点展示

## (4) 第24回博美展 (県博物館共催)

- 第1期 58.5.11～15 日本画・書道
- 第2期 58.5.18～22 洋画・彫塑・工芸
- 第3期 58.5.25～29 写真・デザイン

## (5) 県美術講習会

### <洋画部>

- 昭和58年7月10日 徳島市 千秋閣
- 静物画・人物画の講習
- 講師 洋画部委員

### <写真部>

- 昭和58年6月12日 倉敷市
- 撮影旅行
- 審査員 福島正仁副会長

### <彫塑部> 県教委共催

- 昭和58年7月24日 徳島市中央公民館
- 人物デッサンの講習
- 講師 彫塑部委員

## (6) 美術年報の発刊

- 昭和59年3月
- 県展記録・各部門の歩み・会員名簿など

(7) 各部委員会・その他

- 日本画 (58.5.15、59.1.15)
- 洋画 (58.5.18、6.24、9.14、59.3.25)
- 写真 (58.5.21、10.1)
- 彫塑
- 美術工芸 (58.4.13)
- 書道 (58.6.11)
- デザイン (58.6.10、8.23、10.14)
- 第38回県展書道審査員打合せ (58.9.7)
- 第38回県展審査員(書道を除く)打合せ (58.10.15)
- 県芸術祭移動県展 池田会場 (58.11.19~20)  
牟岐会場 (58.11.26~28)

(8) 各種後援

- 徳島書芸院創立35周年記念選抜書展 (58.4.21~4.25)
- 第17回成蹊書道展 (58.5.6~5.8)
- 第6回写真同人「炎」作品展 (58.5.20~5.22)
- 第19回春潮社日本画展 (58.6.17~6.19)
- 第41回世代美術展 (58.6.23~6.26)
- 第39回新作日本画展 (58.7.8~7.10)
- XIIIじん展 (58.8.4~8.7)
- 第12回徳島雪心会書作展 (58.8.31~9.4)
- 県美協書道部選抜展 (58.9.9~9.11)
- 第18回清潮会書作展 (58.9.9~9.11)
- 第28回書協人展 (58.9.16~9.18)
- 第13回直心会書展 (58.9.16~9.18)
- 第9回克展 (58.9.16~9.18)
- 第30回記念書芸院展 (58.9.28~10.2)
- 第38回青美展 (58.9.30~10.2)
- 第4回書研社展 (58.10.29~10.30)
- 第12回東玄書道会展 (58.11.11~11.14)
- 第12回チャリティー色紙・作品展 (58.12.10~12.11)
- 第13回四国女子大学書道部学外展 (59.2.3~2.5)
- 四国女子大学文学部書道コース第9期生卒業制作展 (59.2.24~2.26)
- 徳島県美術家協会第1回洋画部会員展 (59.2.11~2.15)
- 第1回八幡書作展 (59.3.2~3.4)
- 第13回東玄書道会展 (59.3.3~3.4)
- 第10回桂鳴書展 (59.3.9~3.11)
- 第13回ナルトぴんぼけクラブ写真展 (59.3.18~3.20)

## 第39回県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋画	写真	彫塑	工芸	書道	デザイン	計
出品数		89	256	664	48	104	1,082	81	2,324
入選	率	60.7%	42.6%	25.8%	60.4%	58.7%	43.1%	60.5%	40.4%
	特選	3	5	8	1	3	12	3	35
	準特選	2	5	12	2	2	21	2	46
	入選	49	99	151	26	56	433	44	858
	計	54	109	171	29	61	466	49	939
落選	率	39.3%	57.4%	74.2%	39.6%	41.3%	56.9%	39.5%	59.6%
	落選	35	147	493	19	43	616	32	1,385
招待等	招待	6	11	12	6	7	27		69
	無鑑査	1		3	1	1	3	1	10
	特別品	2	3				4	1	10
	賛助品	3	19			1			23
	計	12	33	15	7	9	34	2	112
展示数		66	142	186	36	70	500	51	1,051

# 第39回展の記録

会期 (第1期) 59.11.10~15  
 (第2期) 59.11.17~21  
 会場 県郷土文化会館

## 日本画

- |        |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 〔審査員〕  | 下田 義寛 |       |       |       |
| 〔招待〕   | 村上 凌雪 | 長尾 弘子 | 荻野 行夫 | 田淵 冬湖 |
|        | 中川 健  | 矢野 秋溪 |       |       |
| 〔特別出品〕 | 高岡 何有 | 山内春暁人 |       |       |
| 〔賛助出品〕 | 篠原 三叢 | 森 蔦苑  | 高田 瑞雪 |       |
| 〔無鑑査〕  | 西野 和男 |       |       |       |
| 〔特選〕   | 斉藤 梅子 | 谷川智恵子 | 土方るみ子 |       |
| 〔準特選〕  | 土井 洋子 | 森 明弘  |       |       |
| 〔入選〕   | 坂本美代子 | 森本 収子 | 豊川 秀義 | 犬伏 孝子 |
|        | 岩瀬 洋子 | 岡 正明  | 松野 寛枝 | 鶴 悦子  |
|        | 三好 秀雄 | 秦 照苑  | 金子 綾子 | 小笠原白芳 |
|        | 石黒 初枝 | 森 蔦江  | 魚井 恭子 | 青木 優  |
|        | 四宮 賢一 | 佐藤 谿舟 | 岡本 悠溪 | 江上 豊溪 |
|        | 横田 谿秀 | 永井 貞溪 | 津田津保三 | 斉藤 誉  |
|        | 青山 溪月 | 森見 喜美 | 大宮 良子 | 前川 富子 |
|        | 中西 芳雄 | 福本 和行 | 東出美智子 | 門田 啓子 |
|        | 高橋 貞順 | 北島 節子 | 小林 一子 | 森田 佳子 |
|        | 岡田 千秋 | 森下 光代 | 福岡ムメ子 | 岡 英彦  |
|        | 吉坂美智子 | 滝口 信一 | 八田 昌子 | 後藤田 実 |
|        | 井原 順子 | 秋元よし子 | 秋岡 茂人 | 山本 志男 |
|        | 川西 博  |       |       |       |

## 洋画

- |        |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 〔審査員〕  | 斉藤 真一 |       |       |       |
| 〔招待〕   | 佐野比呂志 | 永山 隆二 | 清水 亟悞 | 中川 隆史 |
|        | 川原 康孝 | 楠瀬 等  | 高橋 敬  | 立岩 巖  |
|        | 露口 敏幸 | 服部 裕  | 長尾 弘久 |       |
| 〔特別出品〕 | 河野 太郎 | 平沢いさむ | 長井 公雄 |       |

〔贊助出品〕	浅田 二郎 岡 多美子 黒崎 志郎 多田 青叙 榊田 務	天野 節 柏木 雅雄 後藤田仁一 津地 威汎 松川 寛	今田 史男 鎌田 富則 鈴木 勝次 富野 徳 湯本 禎三 福野 稔	大神 良代 河田 安市 武市善次郎 板東 俊一
〔特 選〕	田浦 紀子 祖父江長良	山本 吉男		吉永 房子
〔準特選〕	真野 孝彦 大石久美子	林 伸也	賀本 道子	土井 弘子
〔入 選〕	正見 絹江 高橋 浩爾 団 泰子 岡田 光男 佐藤 敬子 鎌田 弘子 灰田多美子 藤居 文子 菊地 栄子 三井 均 馬詰 敏之 水間 利生 島上 二郎 田村 文代 吉川 彩 尾崎 孝幸 馬木なお子 撫中志津子 越久 高照 小笠 正明 田所 米子 平尾美智子 本川 麻子 土井 順子 手塚 玲子	楠本 守孝 大宮 和雄 石井かおり 後藤ユリ子 山口美千代 西條 敏夫 山橋しのぶ 河野 英昭 安西 京子 島村 英之 三笠 貴子 上松 由美 金岡 義和 乾 繁春 原田チエ子 岡田 信一 天田 富士 天狗石みゆき 森 史人 吉岡三千代 桜井美由紀 露口 悦子 西川 周三 吉岡 啓子 原 たず	楠本 青露 齊藤 靖子 立川 恵臣 前田 由紀 藤田 倫子 鈴江 栄治 峯 幸子 武田 厚子 勝瀬都志子 西條 直子 岩野 泰典 松本 孝子 福野 稔 手塚てる子 南城ミツ子 秋本まり子 川端 肇憲 石井 明治 吉野 典生 吉岡 章子 騎馬 政美 伊丹 順子 三好 初子 正木 啓之 篠原久美子	岩佐 博久 関 政明 杉本 英子 上田 美穂 山下 浩平 田村 泰子 金丸 昌弘 井沢 忠昭 梯 三恵子 玉田 秀子 井上 英司 金山 淳一 谷 麻里子 佐古 一子 尾崎 隆幸 村上 孝枝 前野 亮治 毛利 谷子 村田 宣子 河野 公子 森下 芳行 三好ひとみ 豊茂 智 加島 由季



写真

〔審査員〕	高田 誠三	増田 清次	井上 光雄	木田 英之
〔招待〕	福島 正仁	勝西 雅夫	藤井 梵	武内 亨
	西條 征二	櫛淵 魏	酒井 博司	三好 和義
	笹田 敏雄	前浦 芳久	林 敏彦	
〔無鑑査〕	田村 泰弘	森 賢一	橋本 圭祐	荒井 賢治
〔特選〕	上野 昭文	前浦 正広	富永 章子	森 卓史
	尾崎 利男	古井 謙吉	上野 昭文	小松 豊
〔準特選〕	堀淵 完治	田中 昭男	長谷 進	荒井 賢治
	安長 剛	和田 俊彦	逢坂 登	宮城 高士
	前坂 祥文	堀淵 完治(2)	古井 謙吉(2)	関口 務(5)
〔入選〕	納田 康雄	森 賢一(8)	山下 佳宣	北川 麦
	上野 昭文	川上たかと	倭 恒男	難波 義勝
	板東 敏晴(2)	葛川 正明	田中 昭男(5)	篠原 元
	安長 剛(3)	瀬部 弘志	兼松 英徳(2)	篠原 文彦
	佐野 辰夫(5)	須見 信男	長谷 進	宝積 辰男
	篠原 洋規(3)	田中富美子(3)	橋本 圭祐(3)	中村敏男(2)
	田中 節男(3)	石山 正明	尾浦 元彦	井内春行(2)
	小池 良洋(2)	小西 啓三(3)	森住 博(2)	和田俊彦(2)
	前坂 祥文(3)	坂田 穂氏(2)	大久保利昭	志摩 時次
	増田 寿(7)	渡辺 勝敏(2)	和田 昭旨(2)	岩本 忠幸
	清水 定七(2)	樽見 義	山口 元彦(2)	佐治利弘(2)
	宮武 健二	尾崎 利男	大野 武(4)	見渡 良治
	里 精平	森 貢(3)	前浦 正広	川口 進
	佐治 孝(3)	笹田 勝義(2)	西岡 敏	上杉 大一
	本田 隆敏	折野 理悦(4)	吉本 武夫	川西 由高
	十川 富義	芝 嘉一	形田 耕一	為貞 健臣
	久米 健雄(2)	原田 武二	森 卓史	岩崎英昭(3)
	富永 仁一(2)	宮城 高士(6)	坂東 鶴雄	高田 為一(2)
	多田 晴美			

## 彫 塑

[審査員]	城田孝一郎			
[招待]	河崎 良行	佐藤 隆	大津 文昭	浜口 恵
	井下 俊作	鎌田 邦宏		
[無鑑査]	松永 勉			
[特選]	原田 悦子			
[準特選]	小林 正則	宮武 宏美		
[入選]	沢井 良昭	清崎 晃代	原田 悦子	本川 麻子
	林 泰治	朝比 祐二	三木 良子	田上 芳輝
	中南 弘史	田中 茂美	小川 久代	藤本善太郎
	山上 正一	河崎 直美	林 一美	洙田 洋子
	岡田 英子	岸 美千代	吉野 美保	高木 明美
	妹尾 早苗	吉野咲枝子	銭谷 泰資	蒔田 寿
	中野 智子	中西 邦宏		

## 美術工芸

[審査員]	山下 恒雄			
[招待]	新居 猛	高橋 勇	森 昌男	森 浩
	七条猪三郎	多智花佳代子	松下 雄介	
[賛助出品]	村上 正典			
[無鑑査]	山上 馨			
[特選]	橘 恵	福本アヤ子	森 賢一	
[準特選]	犬伏 絢	井後 宏		
[入選]	信田 幸信	森 行雄	森 明治	斉藤 和彦
	松山 豊	青木 秀夫(2)	鎌田サト子	小栗加代子
	山本 和子(2)	門田 照子	春本 梅里(2)	森 悦光
	大西 勇(2)	大西 義浩	滝沢 政雄	山本 幸雄
	撫養ミツエ	森本 収子	三木 良子	別所 啓介
	新井 靖彦	谷 育子	稲次美津子	日浦 久代
	森 弥栄子	佐藤 勝子(2)	吹田千世子	中川 邦貴
	原田 史郎(3)	山田 和子	平井 恵子	橋本俊夫(2)
	松下 慶一	岡田 源吉	福山 光子	北島 洋史
	中筋千代子	藤本善太郎	後藤田善一(2)	岡崎 益子
	仁尾 郁代(2)	島田 吉子(2)	香川 成子	川原万立子
	村上 文雄			

書道

[審査員]	荒井 天鶴	田中 双鶴	田中 栢翠	富永 眉峰
[招待]	西岡 楚峰	久保 幽香	新居 藍州	讚岐 泰泉
	仲 三千人	宮井 青雨	長原 皐鶴	高原 清泉
	西 南龍	成尾 莊秀	渡辺 草石	長江 清幽
	原田 霄月	芝原 醒鶴	前川 古舟	清水 桂月
	美馬 幾美賀	春藤 大耿	岸 潮風	中谷 史子
	長谷 美峰	勝瀬 景流	川上 虹泉	三間 好鷺
	近藤 静苑	上田 溪水	日下 溪翠	
[無鑑査]	竹田 和代	岡島 順子	荒井 彭仙	

◇ 漢字の部

[特選]	島田 小園	山口 華城	武市 鳴雲	
[準特選]	山本 寛水	隅田 英二	佐藤 真堂	寺内 喜峰
	岡田 華苑			
[秀作]	近藤 聖邨	亀石 文苑	長楽 優香	海原 曉風
	駒田 水洗	福永 美泉	伊丹 東龍	原口 栄香
	大平 京蘭	田村 裕美子	曾川 由明	沖田 唐谷
	宇野 玉峰	新居 藍水	西岡 詩峰	横田 素林
	荒岡 聖風			
[入選]	山本 清香	洲崎 忠峰	山城 美翠	丸谷 美苑
	坂東 美濟	吉本 和風	森 虹村	鈴木 恵理
	木村 涛石	近藤 大谿	赤松 幽石	馬居 汀香
	養手 洋香	弘田 長風	富士 照子	久米 澄香
	大塚 秀峰	高田 遊苑	大下 江波	高岩 和加
	井内 桃園	吉田 素川	花本 清香	能仁 華瑤
	南 涛江	久積 晃陽	吉田 美香	藤井 春琴
	八木 藍玉	以西 観溪	富士谷 溪雲	奈木 雪江
	富士 愛峰	速川 桂女	黒田 清蘭	小西 玉翠
	長尾 愛香	松浦 翠篁	炭田 晴芳	黒田 明香
	真鍋 春園	小松 柏翠	長江 頌石	多田 芝香
	椎野 春翠	宮田 美鶴	宇山 泰鳳	山ノ井 昭泉
	黒橋 由加里	福井 青玉	宮地 大仙	麻植 溪泉
	坂東 松香	坂東 紅城	藤村 柳葉	河野 青玄

坂東 英司	青木 博美	渡部 佳子	奥野 雁峰
田村 昇鶴	宇山 耿鶴	猪尾 和子	川城 峰碩
西木久美子	大櫛 堆川	鹿徳 翠鳳	西岡 美鳳
宇田 栢翠	山本 鳴水	久米 朝子	宮越 大暁
大松 翠雨	山尾 素文	有井 大煌	遠藤 韶光
浅川 蘭舟	鎌田 博文	大谷 隆晴	大松 久香
岡島 朱伯	金山 紅鶴	小林 尚雲	矢野 雲海
熊代 厚子	鈴木 翠雲	田村 栄子	坂本 青水

### ◇ 仮名の部

[特 選]	藤若 美風	下村 清子	広島 章子	松田 友栄
	相城 巖鷗	中尾 勝子		
[準特選]	松本 清香	佐々木翠峰	亀石 文苑	西浦 智頼
	西尾 恵花	富久 鳴泉	小出 圭子	宮城 明子
	田中美智子	東 弥生	光井 明美	山中 真紀
[秀 作]	炭谷 葭江	大石加代子	清水 嘉子	坂口貴美子
	久次米佳泉	井川 敏子	藤川満里子	西谷 香峰
	河田 汀鶴	表原 輝美	藤井 春琴	竹中喜代子
	小西 敬子	小井田境子	高畠 瑞峰	檜原 孝子
	津田 尊子	宮崎三和子	増田 愛子	田中 久恵
	高見 典子	吉見ひとみ	宮田 美鶴	中西 甫子
	小浜 景玉	藤井 扇舟	吉岡 景鵬	海野 景泉
	瀬藤 典子	木村 礼子	清村 宗子	古郷 弘江
	加藤 方仙	豊浦 佳子	若木 聖章	菖蒲 和風
	榭富 朴峰	磐崎 永醒	大松 華雪	大松 翠雨
[入 選]	和泉かなえ	坂 青翠	加村喜美子	千石貴美恵
	正木由美子	福島 由佳	阿部 芳雲	松本 訓枝
	住友 瑞堂	佃 美紀代	塩田 紅蘭	東原 睦美
	松田 久鶴	坂田美智子	山本 景子	播摩 恭子
	武市 恵流	尾原 常子	吉田美重子	山本 恵子
	田中 敬子	喜内恵美子	北條 明美	国見 幸子
	富士山市子	森下 佳代	河村 聡子	小松 佳代
	香西 三穂	高尾 照子	石井 直美	松家 祥
	逢坂八虎子	倉田 栄子	兼松 礼子	横田比呂美
	山本 晴代	吉田 良枝	森 恵美	小堀 真利

大寺 薰	小井田真紀	大西 玉美	小林 聖美
藤本 弓岳	福田世津子	村岡 鼓石	三津 栄紅
坂本 弘子	三宅 葉子	河野三代子	上杉 好恵
小濱 紫	宮本 早苗	山川真紀子	佐條 美恵
島田 翠芳	仁木 文苑	尾田 艶子	近藤 紅恵
宇多 千秋	高橋美智子	井上 康子	大野 照子
須藤 和子	岸田いち子	福島 宏美	米沢 美鵬
笹田 真里	由利 里子	岡田 妙子	松永 裕子
横山 美子	尾形 秋峰	大塚 春線	谷酒 秀雲
米津 溪泉	稲井真由美	田村富士子	田中 睦美
後藤田可奈	岸本多美子	桜間 朱美	村井 啓子
長田 千尋	立花みゆき	井内 滋子	木村ゆかり
谷口 博子	河井 智子	形田 直子	渡辺 千栄
前田真由美	渡辺 幸子	植田まどか	祖母井千里
田中 千富	辻 柏泉	米沢 和美	西木久美子
大櫛 堆川	尾崎 和子	中野 智子	松井美和子
斉藤 久美	後藤田公基	三浦富美代	坂東 華丘
河野 静江	手島 景扇	中節 滋子	仁尾 郁代
中節 良江	枝川 綾香	杉本千枝子	出口来喜子
藤原 育代	内藤 華舟	千葉 真美	川下 景風
畦地 佳子	伊東 重子	河野 真流	本多 秀苑
山本 芳竹	堀渕 琴流	頼野よし子	根本 香雲
竹内 虹舟	倉本 景雨	近藤 俊流	吉成真由美
吉田 浩子	笠井 宣江	増田 恵子	新開ひとみ
田中 千恵	阿部 千秋	齐田 寿子	細川 陽子
北橋 秀岳	大久保紀子	井内 晃流	大松美和子
仁木 博子	近藤 晴実	中野ハルエ	菱崎 奈美
内林 久	佐藤 尚子	亀山 敦子	内田 芳舟
古郷 恵美	佐川 由美	青谷 藍苑	大森 華舟
中野 芳泉	注連みゆき	矢野 一代	大塚 美溪
藤川 満理	新居 芳翠	横井 杜舟	笠原小夜子
西崎ひろみ	吉田 史艸	横堀 恵子	稲井 知子
富士美峰世	神野いずみ	内藤 里佳	山西 恵可
細川 井雲	笠井 恵子	張 純子	藤本 晃代
秋山富美子	浜田 香代	浦 貴美	棚橋千代美

上村 瑞恵  
吉岡 廣子  
盛山 知苑  
中村 彩舟  
長廻 典子  
諫山 裕美

水口 尚子  
大野真由美  
西窪 貴子  
小川 汀苑  
澤野 裕子  
須原 理恵

越智 亮子  
奥田みゆき  
木村 弘子  
松原 由美  
国見 由香

藤川 百合  
宗田知津子  
田中 映子  
筒 真理子  
吉成 真於

### ◇ 近代詩文の部

〔特 選〕

豊田 乾香

永松 春苑

〔準特選〕

佐原 和清

庄野 もと

浜 佳香

〔秀 作〕

上野 尚穹

日開 阜扇

横谷 清亭

久米 聰香

岩本 雅三

坂本 霄風

多田 清芳

高岡 晃祥

佐藤 宗香

〔入 選〕

粟田 白容

大松 碩城

野村 鳴洋

近下 守

仁田 香草

木田 史香

大崎 玄穹

青柳 皐陽

青柳 隨風

林 皐葩

竹田 香照

福島 初子

林 榮美

瀬戸内美代子

石井芙美子

朝 三和子

音井 輝美

下野 清貞

天野 啓子

藤田 弥山

木元ユリエ

坂尾 俊一

川端喜美子

森本知世子

丸田 恵風

森岡 碩幽

春川 青超

篠原 和枝

河野 富仙

三宅 近子

箭田 忠則

佐野 天靖

和田 悦代

和田富美子

山口 幽経

竹中 章

高木 菜月

内藤佐江子

長江 裕子

豊田 英僊

小田 創風

芥藤 虚白

富川 博香

藪内 扶桑

竹井 澄子

浅石美江子

折田 浩子

加島 流芳

川又 敏香

### ◇ 前衛の部

〔特 選〕

竹内 秀翠

〔準特選〕

田中 秀翠

〔秀 作〕

前川 益江

山田 素芳

高井 静香

西川 清流

〔入 選〕

新見 榎邨

真鍋 礼萌

志内 祥雲

榊富 点雪

一宮 翠風

森 麗舟

林 桂翠

伊丹 香風

南本 芳翠

渡辺 翠邑

八光 秀美

谷口 昌代

田村 雙風

江口 江月

坂口 義象

坂本 泰山

曾我部多重子  
重本 昌代

竹内 清峯  
溝淵久美子

涇口 司葉  
木内 楊翠

佐藤 美和  
森岡 美翠

## デザイン

〔審査員〕 長友 啓典  
〔特別出品〕 坂本三千一  
〔無鑑査〕 浅野 昌哉  
〔特選〕 坂野美恵子  
〔準特選〕 渡辺 祐治  
〔入選〕 齊藤 美枝  
正木 江里  
井上 稔  
若山 直美  
坂野美恵子  
島田 康子  
齊藤 江美  
前野 淳二  
井川 奈美  
岩佐 俊彦  
永井 道子

前野 淳二  
福島 康仁  
吉本たみこ  
川添 剛  
武田久美子  
松崎 仁美  
木邑 智子  
齊藤ゆかり  
長山 桂子  
増田 智子  
上田 幸子  
高田 政芳

齊藤 繁次  
吉本 實  
猪井 秋人  
福島 康仁(2)  
寺本 礼子  
森本 尋子(2)  
齊藤 剛(2)  
重清 嘉宏  
河村 澄子  
中田 智子  
木川 隆志

溝田 治朗  
中山 武博  
高倉 邦夫  
小田太一郎  
片岡 美穂  
福家 治  
竜田 弥子  
新田 輝昭  
加島 由香  
田中 一郎

## 招待・無鑑査・特別出品規定 (昭和51.6.13制定)

### ☆ 次のものを招待とする

- 1 無鑑査出品を3回以上得たもの。(ただし、年回の間が5年を経て、その間に特選・準特選の受賞ないときは失格)

### ☆ 次のものを無鑑査とする

- 1 特選を連続3回得たもの。
- 2 第1回より年回を問わず特選を5回得たもの。(ただし、年回の間が5年を経て、その間に特選・準特選の受賞のないときは失格。準特選2回をもって特選と同値とする)
- 3 前回展の無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

(注) 同じ年回に特選及び準特選を重賞した場合は、それぞれ特選及び準特選を1回得たものとする。

また、特選と準特選を重賞した場合は、上位の賞を得たものとする。

### ☆ 次のものを特別出品とする

- 1 理事会で認めた会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員。
- 2 理事会で認めた各部会長、顧問、参与。

(注) 1 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、理事会で認められた事由がない限り、その資格を失うものとする。

2 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

3 この規定以外で審査をうけず出品する場合は、理事会の承認を必要とする。





# 展 審 査 員 一 覧

美術工芸	書	道	デザイン
鬼塚 信之	委 員		
同 上	田 中 白 村		
同 上	炭 山 南 木	織 田 子 青	
同 上	炭 山 南 木	織 田 子 青	
同 上	手 島 右 卿		
同 上	同 上		
明 石 田 景	小 坂 奇 石	(漢) ・ 出 口 草 露 (仮)	
会 田 宣	織 本 史 邑		
鴨 藤 政 悠	松 井 天 鶴	後 藤 泰 秀 後 藤 田 香 石	
近 藤 悠 宏	荒 井 中 天 鶴	中 栢 翠 眉 峰	
同 上	同 上		
大 西 忠 夫	同 上		
明 石 朴 景	同 上		
平 松 宏 明	同 上		
大 西 忠 夫	同 上		
鴨 政 宏 春	同 上		
平 松 邦 夫	同 上		
内 田 洋 二	同 上		
山 脇 宗 一	同 上		
山 脇 宗 一	荒 井 中 天 鶴	後 藤 泰 秀 田 中 双 鶴	
藤 本 能 安	同 上		
三 井 角 蘇 夫	同 上		
六 鈴 木 貫 爾	同 上		
田 村 耕 洋	同 上		
山 脇 野 泰	同 上		
前 野 田 泰	同 上		
山 脇 洋 二	同 上		
中 村 光 哉	荒 井 中 天 鶴	久 保 幽 香 讚 岐 泰 泉 田 中 双 鶴	
山 脇 耕 一	荒 井 中 天 鶴	富 永 眉 峰 新 居 藍 州	
田 村 耕 一	荒 井 中 天 鶴	田 中 双 鶴 田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	
同 上	同 上		
山 下 恒 雄	荒 井 中 天 鶴	田 中 双 鶴 田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	
同 上	同 上		
			金 野 弘 大 早 原 田 奥 灘 大 福 永 山 栗 田 長
			智 川 良 一 英 唯 繁 一 隆 一 啓
			中 野 本 高 田 井 城 津 中 友
			弘 浩 雄 弘 光 雄 人 猛 雄 正 一 潔 光 典



# 日本画部

部会長 荻野行夫

## 年間展望

### ◎ 第25回 博美展 (5/23~5/27 県博物館)

25回にふさわしく出品点数が大幅に増加を見せた。作品内容も作者それぞれの世界で一生意念描いた作品が展示された。記念大賞の鶴悦子「夢」は温かく柔かい色調で無難作な子供の寝る姿を気取らず自由に描けていて佳作であった。博美賞の井原順子「赤いマフラー」は重い暗い色調の中に美しいマフラーの赤色が特に印象にのこる。優秀賞には中西芳雄、中尾勝の2点が入賞し、そのほか森口信一、土肥米吉、森ツタエ、などの作品がおしくも賞にもれたが豊かな诗情ある作品であった。(応募点数58点、前年比18点増)

### ◎ 第40回 新作日本画展 (7/6~7/8 アミコ、シビックセンター)

新作展も回を重ねるうちに40回迎えた。部会独自の定期展として着実に発展して来ており今回は出品点数も144点と前回比16点増しで意欲のある作品が多くを占め充実した部会展が終了出来た。例年のように役員による投票制で新作大賞のほか優秀作品12点を選び会場で表彰を行った。

(新作大賞) 「春を待つ」津田 津保三

(新作賞) 「冬の気配」谷川智恵子、「鳥花」吉坂美智子、「ポーズ」門田啓子、  
「桂林旅情」安芸鶴一「富士桜」上原好子

(佳作賞) 「あじさい」片山敏夫、「グラジオラス」橋本敦美、「ポピー」柳田一子、  
「人形」滝口信一「白い木蓮」安淵清子、「南仏所見」浜口芳春、「らん」  
佐野喜美江

### ◎ 県美術講習会(実技講習) (8/5 徳島市中央公民館)

57年度から県展の審査をお願いしている東京芸大の下田義寛先生に 来て頂いて実技の講習をうけた。当初計画していた受講定員40名を大きくオーバーし72名の参加申し込みを受け2教室にわかれて受講した。秋の県展制作に取りかかる時期とあって、それぞれが下図、試作などを持ち込み講師先生から各個に可成りの時間をかけて頂いて構図から制作に至るこまかい指導を受け効率な講習会を終えることが出来た。又これから毎年でもこうしたものをぜひ実施してほしいと言う会員各位からの要望もあり大変に成果のあがった講習会であった。

### ◎ 第39回県美術展 (11/10~11/15 県郷土文化会館)

審査は8月の美術講習会において頂いた 下田義寛先生に引続いてお願いした、先生には今回で連続3回目の 審査をお願いして来ているので徳島の日本画の状況も大変よく知って頂いており絵てを要領よく実施して下さい。

審査を終えての総評では……3年前から審査させてもらっているが、型にはまった作品、観念的な作品が少なくなってきており全般的に好感が持てる。絵を描く時大切なことは自分

の訴えたいことを明確に描ききることであり、それぞれの作品は自分の感性を大切に描いており、全般的にレベルは上がってきていると思う……と言われた。

特選「惜春」齊藤梅子、「行」谷川智恵子、「五月の森」土方るみ子、準特選「白露の頃」土井洋子、「睡蓮」森明弘、（審査対象搬入点数89点、前年比13点増）

◎ この一年を通じ部会員の精神的な活躍で中央展をはじめ 県内外での諸展観行事に参加されたものを、あとの消息欄で紹介したい。

なお、永年にわたり県美協理事であり 日本画部部会長であられ県下の 美術発展指導に非常な熱意で貢献された 後藤春潮先生が59年11月14日に逝去されました。先生のご功績を称えると共に生前のご指導に対し感謝の意を捧げここに部会員一同心からご冥福をお祈りしたい。

### <消 息>

1月	日本画洋画新春絵画展	鳴門四電ギャラリー	村上凌雪・高田瑞雪
"	徳島画壇小品展	徳島そごう	
2月	第29回画展ふるさと	郷土文化会館	矢野・篠原・森・高田・長谷・佐藤・今川ほか
"	第19回日本墨彩画院展	香川県文化会館	矢野・篠原・森・高田・長谷
3月	第13回徳島市文化展	郷土文化会館	徳島市内会員出品
"	第4回東京セントラル美術館日本画大賞展	東京セントラル美術館	岡英彦（入選）
"	第24回日本南画院展	東京・京都・大阪美術館	村上・矢野・篠原・森・高田・長谷・佐藤・今川
"	第5回むや園日本画展	鳴門四電センター	高田瑞雪及び塾生
"	色紙チャリティー	眉峰ギャラリー	篠原三叢
"	仏画展	阿南四電センター	"
4月	第19回日春展	東京銀座・松屋	岡英彦（入選）
"	平島公民館落成記念展	那賀川町平島公民館	篠原三叢
5月	第10回恵生社展	郷土文化会館	佐藤谿舟塾生出品
"	第36回京展	京都市美術館	岡英彦（入選）
"	第22回阿南市美術展	阿南市民会館	篠原・森・長谷・今川ほか
"	小松島市美術展	小松島中央会館	篠原三叢
6月	第6回個展	ノーム書店ギャラリー	高田瑞雪
"	ふるさと鳴門画展	鳴門市民会館	村上・矢野・田淵・高田・釣島
7月	第7回国際交流画展	京都市勧業会館	篠原・森・長谷・佐藤ほか
"	第57回女流美術小品展	アミコ・シビックセンター	女流美術協会員全員参加
8月	絵でみる徳島展	郷土文化会館	矢野・篠原・森・高田・長谷・佐藤・今川
"	第13回中央展出品画展	"	森・村上・篠原・高田・長谷・佐藤・今川
9月	有秋会	大阪市立美術館	森・篠原・長谷・佐藤・今川

10月	珀雲社日本画展	郷土文化会館	森・篠原・長谷・村上・今川
〃	第37回鳴門市展	鳴門市市民会館	鳴門市日本画部全員参加出品
〃	84とくしま絵画選抜展	アミコ・シビックセンター	若手会員（日本画10名）出品
11月	阿南市展	阿南市市民会館	篠原・森・長谷・今川
〃	小松島市展	小松島中央会館	篠原三叢
〃	那賀川町美術展	那賀川町民センター	〃
〃	井筒館展	井筒館	〃
〃	第11回恵生社展	郷土文化会館	佐藤谿舟塾生出品
12月	第58回女流美術展	アミコ・シビックセンター	女流美術協会会員全員参加
〃	高田瑞雪、作品画集刊行		高田瑞雪

# 洋 画 部

部 会 長 平 沢 い さ む

## 年 間 展 望

◎ 県展、本年度の審査員は、贅女の制作で有名な齊藤真一画伯、審査後の感想については、新聞紙上と図録に述べられているので重複をさけるが、画伯は、地方色の出た作品、中央の影響の伺われる作品に別けて批評されたが、画伯に接して、自分の目でしっかりと見ることの大切さを強調された。

出品作全体のレベルは年毎に向上していることを感じた。

### (企画展)

- 第1回県画壇小品展 1/3~11 そごう5F
  - 新春洋画秀作展 1/14~25 そごう5F
  - 現代洋画壇展 2/10~15 そごう5F
  - 洋画精鋭小品展 2/24~29 そごう5F
  - 第8回色紙小品百人展 3/1~20 肩 峰
  - 第6回明日への具象展 3/10~25 郷 文
- 新しい具象作品をめざした現代中堅作家の作品、徳島では初めての展示で、興味があった。
- 春の現代洋画まつり 3/16~21 そごう5F
  - 第3回徳島平和美術展 4/5~8 郷 文
  - 伊藤深水展 4/8~30 郷 文
  - 県出身美術家展 4/10~18 そごう8F
  - 現代洋画秀作展 5/24~28 そごう6F
  - 第1回尾道の四季公募作品展 5/25~30 そごう8F
  - 第37回示現会徳島巡回展 6/16~19 郷 文
  - 現代洋画壇展 6/22~27 そごう5F
  - 第1回フランス絵画展 7/6~11 そごう5F
  - 第23回現代洋画秀作展 6/27~31 建設センター
  - 第13回中央展出品絵画展 8/5~19 郷 文
  - 絵で見る徳島展 8/5~19 郷 文
  - 第15回日展徳島展 9/1~30 郷 文
  - チベット密教美術展 9/14~19 そごう8F
  - 現代フランス巨匠作品展 9/15~17 グランドパレス
  - 浮世画名品百選展 9/28~30 そごう8F
  - 徳島市選抜展 10/1~10 シビック
  - 現代洋画秀作展 10/29~31 そごう5F

- 伊原宇三郎展 11/29~12/23 郷文  
回顧展を見て、画伯の芸術については、図録の巻頭に、ブリヂストン美術館、館長嘉門安雄氏が、その全貌を、よく述べられているが、画伯の仕事は時流を追った派手な存在ではなかったが、まじめに油彩画の骨格、基本を深く追求された。

画伯は大正末期から、昭和前期にかけて、日本洋画史にも残る仕事をされ、郷土の生んだ偉大な画家であったと思う。

- 現代人気作家版画展 11/30~12/5 そごう5F
- (公募展)
- 第13回県教職員美術展 1/27~29 郷文
- 第13回徳島市文化展 3/3~8 郷文
- 第25回博美展 5/30~6/3 博物館
- 第39回青美展 9/1~4 シビック
- 第39回県美術展 11/10~15 郷文
- (グループ展)
- 第17回モダンアート徳島支部展 1/6~10 郷文
- 第6回試展 1/6~10 郷文
- 第1回昭和美術会徳島巡回展 1/18~22 郷文
- 瓦礫展 1/19~22 郷文
- 徳大美術教室美術展 1/27~29 郷文
- 松美会展 1/28~30 四電
- 第37回新紀会展 2/8~12 眉峰
- 第1回徳島県美術家協会洋画部会員展 2/10~15 シビック
- 徳大美術部卒業展 3/9~11 郷文
- グループ創絵画展 3/30~4/1 郷文
- 第2回白の会油画作品展 4/20~22 シビック
- 第2回中央絵画展 5/3~7 シビック
- 第8回全日本美術協会徳島支部展 5/11~14 シビック
- とくしま美術グループ小品展 5/18~20 シビック
- 第7回八紅展 5/18~21 シビック
- 試行展 6/7~10 郷文
- 日曜会油画展 6/17~19 四電
- 第43回世代美術展 6/21~24 郷文
- 日本芸術家協会、四国展 6/12~17 丸新
- 第57回県女流美術協会小品展 6/14~17 シビック
- 13人展 8/2~5 リバーホール
- 第6回昭和美術会、四国支部展 8/20~26 郷文
- “む”アート展 8/24~27 郷文
- “彩”洋画展 8/25~27 郷文



- 第9回あわ洋画ぐるうぶ展 8/31~9/2 郷 文
- 第6回鴨島美術クラブ作品展 9/1~5 郷 文
- 第16回石井美術の会作品展 9/22~24 リバーホール
- 第六回グループ創展 9/27~30 四 電
- 心のふるさとイメージ絵画作品展 10/22~24 シビック
- 東光会徳島支部展 10/20~28 郷 文
- 第3回グループ九油画展 10/27~31 シビック
- 旺玄会徳島支部展 11/22~25 原 田
- 示現会徳島支部展 12/1~5 シビック
- 第2回明治3人展 12/3~5 シビック
- 第1回裸婦デッサン展 12/2~10 眉 峰
- 白鳳グループ洋画展 12/6~9 鳴門図書館
- 第58回県女流美術協会展 12/8~10 シビック
- キャンパスクラブ展 12/24~26 四 電

(個 展)

- 真木新ガラス画展 1/11~13 四 電
- 小松正利個展 1/18~20 和 光
- 大西五朗 彫刻と絵画二人展 1/19~22 郷 文
- 細川直毅
- 磯見輝夫木版画展 1/19~24 翠 峰
- 女流版画二人展 2/4~6 眉 峰
- 近藤昇個展 2/16~21 翠 峰
- 荒川修作新作版画展 2/15~20 翠 峰
- 芝田米三リトグラフ展 3/23~28 そごう5 F
- 鈴木山賊個展 4/6~11 シビック
- 渡辺俊二・紀世作品展 4/13~16 郷 文
- 加藤一シルクスクリン展 4/19~24 翠 峰
- 森田茂展 4/20~25 そごう5 F
- 関政明作品展 5/1~31 やまなみ
- 三木武夫・睦子個展 5/3~8 丸 新
- 一原有徳版画展 5/17~22 翠 峰
- 宮佐千秋・由紀二人展 5/19~29 U Z U 珈
- 加島保行個展 5/30~6/5 郷 文
- 新進画家二人展 6/1~4 シビック
- 前田常作マンダラ画展 6/3~20 野々瀬
- 木原康行銅版画展 6/6~12 翠 峰
- 武市勝リトグラフ展 6/14~19 翠 峰
- 第6回清水壺俣個展 6/26~7/2 郷 文

●柳井保都岐油彩展	7/12~17	翠 峰
●鈴木勝次油画小品展	8/10~15	シビック
●岡島良明淡彩スケッチ展	8/25~28	眉 峰
●田中圭三油画展	9/3~5	そごう5F
●エルテ版画展	9/13~18	翠 峰
●林伸也洋画個展	10/9~10	眉 峰
●小林今治油画の○号展	10/9~12	四 電
●高松次郎平面展	10/11~16	翠 峰
●宮佐千秋・由紀二人展	10/19~23	ハラダ
●井上昌男紙版画展	10/19~24	そごう5F
●ふじいあさ個展	10/25~30	シビック
●深見良雄油画展	11/3~5	鴨島・本郷
●松川寛・三沢尚子二人展	12/14~18	シビック
●仁宇暁子個展	12/24~31	U Z U 珈

#### (行 事)

##### ●第16回美協洋画部講習会

日 時 4月29日  
場 所 鳴門市岡崎渡船場附近  
参加者 54名

##### ●第一回洋画部会員展

日 時 2月10日~15日  
場 所 シビックセンター  
出品者 64名

##### ●第18回徳島県芸術祭

優秀賞 鈴木勝次、大神良代、松川 寛  
新人賞 林 伸也、毛利谷子

#### <会員、個人消息>

板東 弘憲	二科展入選 全日本美術展入選	四宮 久子	二紀展入選 上野の森の美術館展入選
松川 寛	モダンアート展出品 上野の森の美術館展入選 県芸術祭優秀賞	真野 孝彦 藤田 倫子 永山 隆二	二紀展入選 二紀展入選 美術文化展入選
浜口 恵	モダンアート展出品	騎馬 政美	関西美術文化展入選
佐野比呂志	第52回独立美術展出品 第22回全日本美術展出品	武市善次郎 仁宇 暁子	形象美術展入選 形象美術展入選
柏木 雅雄	全日本美術展出品		準会員推挙
立岩 巖	全日本美術展出品 全日本美術会賞	河野 太郎 浅田 二郎	東光会出品 東光会出品

堀切 薫子	全日本美術展出品	青山 盛雄	東光会出品
山口 和子	全日本美術展出品		会員推挙
	セントラル美術賞	尾崎 素子	東光会出品
岡田 守	全日本美術展出品	毛利 谷子	東光会入選
中村 晴代	全日本美術展出品	三好 初子	東光会入選
藤川 明子	全日本美術展出品	黒崎 志郎	第37回示現会出品
	セントラル美術賞	岡久 薫	〃 示現会出品
川原 康孝	全日本美術展出品	北島 溢美	〃 示現会入選
岡 多実子	新象作家協会展入選	島村 英之	〃 示現会入選
	スペイン展入選	津地 威汎	国展出品
	サロン・ドトヌ入選		第6回明日への具象展 出品
	日本国際美術家展出品	河田 安市	白日会出品
多田 青叙	一水会出品	下時治郎秀臣	白日会出品
斉藤 靖子	日本板画院展入選	松尾 彰治	白日会出品
今田 史男	美術文化展出品		会員推挙
後藤田仁一	美術文化展出品		
清水 亙博	モダンアート展出品		
	現代洋画精鋭選抜展銀賞		
	国際美術展会長賞		
	コレクターが賞を選ぶ絵画展出品		
福野 稔	新世紀美術協会展出品		
橋本 政典	現代美術家協会展出品		
富野 徳	旺玄会展出品		
賀木 道子	旺玄会展出品		
大神 良代	自由美術展入選		
里 精平	旺玄会入選		

# 写 真 部

部 会 長 西 條 征 二

## 年 間 展 望

- 第39回県展の審査は前年に引続き大阪芸大助教授、国際サロン審査員の 高田誠三先生に御願いました。出品作品は質・量的にも毎年向上の一途をたどり 非常に高水準であるとの総合的な評を得た。中でも新人の進出がめざましいものがあり、独自の感性をもって新風を吹きこまれたように感じた。入選率も25.8%となり、まことに見ごたえのある粒ぞろいの入選作品ばかりの展覧会となった。

「新しい表現に挑戦した意欲作が目立った。高感度フィルム、多彩な印画紙、水中カメラ、ペーパーソラリゼーション等、写真の新機材、新技法をうまく使いこなし、表現したいものを自在に映像していた。一方被写体の魅力を忠実に再現したのもの 中にも優れた作品があった。要は見る者の胸を打つかどうかだ。周囲の人間生活にまなざしを向けた作品も、もっとあっていいと言われた。橋本圭祐「神秘的瞳」はペーパーソラリゼーションの技法によって周囲をぼかし、ネコの目だけをリアルに強調した点に新しさ、うまさがある。富永章子「ヒコーキ雲」、前浦正広「光景」、荒井賢治「からす」、上野照文「怪魚」、尾崎利男「一日」、森卓史「茶昆」、森賢一「けし」が特選に選ばれた。

- 博美展も第25回記念展を迎え、新人の出品、女性の進出が激増した。25回記念大賞には佐治孝「樹」、博美賞には田村泰弘「散輝」（組）になった。
- 第32回二科会写真公募展には森賢一「凝視」、安長剛「鑑賞」、榭淵魏「輪廻」、久米健雄「サリーの女」藤井梵「夫の額」がそれぞれ入選した。
- 徳島新聞夕刊「フォトとくしま」に1年間の長期にわたり県下の写真クラブが協力し美協会員が多数作品を出品し掲載された良き写真のころみであった。
- 徳島県芸術祭には写真部門優秀賞に井藤光章「海のささやき」が表彰された。
- 主な展覧会は次のようなものが開催された。

### ◎全回公募巡回徳島展「視点」

1月20日（金）～1月25日（水） 徳島そごう8階特別催し会場

### ◎ナルトぴんぼけクラブ写真展

3月18・19・20日、鳴門ショッピングセンター、ジャスコ4F特別会場、テーマ、我が郷土

### ◎第3回徳島平和美術展

4月6日（金）～8日（日） 徳島県郷土文化会館

### ◎写真集団「風」第2回作品展

4月13日（金）～15日（日） 徳島駅前アミコビルシビックセンター5F

### ◎第4回写団「未知草」作品展

4月19～22日、県郷土文化会館、花などの接写、生物、風景等 110点。

- ◎第10回小松島カメラクラブ写真展  
5月19日（土）～20日（日） 県郷土文化会館
- ◎第24回写楽会写真展  
6月8日（金）～10（日） 徳島駅前アミコビルシビックセンターギャラリー
- ◎第6回末広フォトクラブ写真展  
6月8日（金）～10日（日） 徳島駅前アミコビルシビックセンターギャラリー
- ◎第7回写真同人「炎」作品展  
6月15日（金）～17日（日） 県郷土文化会館 炎大賞、炎優秀賞他 180点
- ◎第19回光展  
8月27～29日 徳島駅前アミコシビックセンターギャラリー
- ◎ミニ個展シリーズ  
木曜館（名西郡石井町）
- ◎第1回徳島写真クラブ作品展  
11月2日（金）～4日（日） リバーホール、さくらまビル4F
- ◎写真展 各各安立  
11月19日～21日 アミコシビックセンター 日本リアリズム写真集団徳島支部

# 彫 塑 部

部 会 長 河 崎 良 行

## 年 間 展 望

第39回展の審査は、新制作会員の城田孝一郎先生に来ていただいた。木彫を中心に精神性の高い作品を発表している彫刻家で、今回の審査も長時間にわたった熱意のこもる審査や批評をいただき、出品者にとっては貴重な勉強会となった。

審査評としては『特選の原田悦子「想」は、デッサン力、造形力、感性とも豊かである。宮武宏美の「想」は、新鮮さとみずみずしさに注目し、将来性を高く評価する。小林正則「立つ」は、仕事としてはほぼ完全に近いものであり、その力量を買う。これらの受賞クラスの作品は、水準も高く中央でもかなり通用する力量である。』とのことであった。

今年も抽象作品が少なく具象作品が大半をしめていたが、この受賞クラスの作品があと数点あればかなり充実した展覧会になるのではないかと思う。今年若い人の出品が多かったので今後期待したいところである。その他注目すべき仕事は、中南弘史「トルソ」の石彫であろう。常連は山上正一氏ぐらいで本県での石彫家は少なく、今後の制作活動は大いに期待される。また近年かなり大規模なテラコッタに挑戦しているグループがあり、より一層の進展を望みたい。

部会の行事としては、懸案であった彫塑部会展の開催をあげることができる。8月4日(土)～8日(水)まで、シビックセンター5階ギャラリーで開催、会員の出品は7名(井下俊作、藤田倫子、谷村薫子、鎌田邦宏、沢井良明、山上正一、河崎良行)と少なかったが、会員外から松永勉(行動)、上田久利(日展)のベテランから新人まで26人の参加者があり盛会裡に部会展を終えることができた。

当部会の監事、瀬部瑞城氏が3月29日に逝去された。享年62歳。木彫を自由美術展に出品されていたが、彫塑部会にも長い間極めて熱心にお世話をいただいております。彫塑部会としても貴重な人を失うことになった。上記の部会展に遺作二点を展示し、氏の功績をたたえとともにご冥福をお祈りした。

### <個人消息>

井上 俊作	行動美術展出品	東京都美術館
鎌田 邦宏	二紀展出品	〃
河崎 良行	個 展	みゆき画廊(東京銀座)
	二紀会員展出品	東京セントラル美術館
	二紀展出品・委員推挙	東京都美術館
沢井 良明	第一美術展出品	〃
浜口 恵	モダンアート展(版画)出品	〃
藤田 倫子	二紀展(絵画)入選	〃
坂東 文夫	二紀展出品	〃

# 美術工芸部

部会長 釜 床 誠 一

## 年間展望

第39回展は、東京芸術大学教授山下恒雄氏を昨年につづいて再度お迎えして審査が行われた。出品数は104点で工芸部としては、はじめて100点以上の出品数となった。賞については昨年の点数により基準が決められている関係上、特選3点・準特選2点、入選56点であった。

審査は、制作に対する姿勢態度に創造性があり、多少破たんがあってもより強く自己表現した創造性豊かで個性的な作品を入賞入選とされた。

総合審査評として、今年の作品には、まとまりがあったが、しかしその“まとまり”が問題で器用にまとめてしまうと面白さが乏しくなると言われた。また美術は感激させること、工芸は絵画的要素と彫刻的要素がある。染めは、絵の要素が強い、着物は動くが額物は動かない、着物は暖だけではない。工芸は使われるだけではだめである。染めは絵かきさんと同じ気持ちで藍の仕事から新しいものを生み出してゆくことだ。徳島は伝統の藍染めが多いが、少し地味すぎて、色気に乏しい気がした。染色を“見せる絵”と考え、バラエティに富んだ表現を試みてほしい。他のジャンルについても同様で、来年は新しいものに意欲的に挑戦し、研究成果を発表する気持ちで出品してほしいと評された。

なお特選作品の審査評については、特選作品は全国水準に達しており、橘恵氏の「潮路」は海を表現した藍の濃淡が美しく、リズムカルな構成がよく、阿波の風土性が作品の中にしっかりと息づいている。森賢一氏の「空へ」は、大空へのあこがれを大きな翼の鳥に託して表現している。大胆な構図と細かい細工の構成が美しさを、また木の地肌の色を生かしたシックな色調だが弱くならず、デザインの単純化が迫力を生んでいる。福本アヤ子氏の「鉄袖縞紋花器」は、従来の工芸観で作られた素直で上品な他の焼き物に対して、大胆にストライプの表現を試みた力強い作品だと評された。

展示については、本年は特に出品数の増加と大作が多かったが、一昨年より展示場が広くなりすっきりとした展示が出来た。

中央展、グループ展、個展等も多数の会員が力作を出品され入選入賞し多大の成果をあげている。

森浩氏は59年11月に第26回日本民芸公募展に出品し、日本放送協会賞（NHK）を受賞された。会員の皆さんと共にお喜びを申し上げると共に氏の多年の創作活動に対する情熱と意欲の成果であると思う。

森昌男氏は59年6月に中部染色展に於いて、愛知県教育委員会賞を受賞された。森浩氏同様に心からお喜び申し上げたい。

<個人消息>

井後 宏	1月	国際七宝日本展	東京セントラル美術館
	5月	第一美術展会員出品	東京都美術館
	9月	第18回財団法人日本七宝作家協会展出品	東京都美術館
小笠 道子	5月	第一美術展 会員出品	東京都美術館
多智花佐代子	3月	日本現代工芸展入選	東京都美術館
	12月	現代工芸四国会展出品	高松三越
九十九健二	5月	第一美術展会員出品	東京都美術館
新居 猛	2月	木のニイチュエア個展	大阪永大ギャラリー
	6月	モスクワ日本デザイン展ニイチュエアセッ ト招待出品	モスクワ
森 昌男	6月	中部染色展 愛知県教育委員会賞	愛知美術館
	6月	藍染創作グループ展	四電ギャラリー
森 浩	10月	個 展	千葉、館山
	11月	やきものと書道展	アミコ5階
	11月	第26回日本民芸公募展日本放送協会賞	日本工芸館
森 賢一	3月	日本現代工芸美術展入選	東京都美術館
	12月	現代工芸四国会展出品	高松三越
村上 正典	5月	日府展会員出品	東京都美術館
	7月	関西展入選	大阪天王寺美術館
	8月	徳島陶芸会出品	シビックセンター
矢野 款一	6月	矢野款一作陶展	シビックセンター
山本 和子	6月	中部染色展作家賞受賞	愛知県美術館
門田 照子	6月	同 上 入 選	同 上
	5月	第一美術展記念大賞受賞	東京都美術館



# 書 道 部

部 会 長 田 中 双 鶴

## 年 間 展 望

年内県下で開催された書道展は、博美展、県展及び芸術祭参加の17種の社中展、大学の卒展など質も量も共に充実し、何れも趣向をこらし、想を練り、最善を尽くして内容豊かに華やかに開催された。こうした県内展を基盤として中央展、県外展において審査員として活躍し審査員作品を発表した人々、役員として作品を発表した人々、海外展に出品した人々、公募展に出品して入選入賞した人々等その数も漸次多くなり、本年の県内書作家の活躍は、極めて目ざましく、大きい足蹟をのこし、著しい成果を挙げた。

なお、永年にわたり、県美術家協会の理事及び書道部長等をつとめられ、県書道界の発展に尽くされた後藤泰秀先生が59年6月14日に逝去されました。先生のご功績をたたえと共に生前のご指導に対し感謝の意をささげ、心から御冥福をお祈りしたいと思います。

### ◎第25回博美展 (5/23~27)

博美展は25周年という記念展として盛大に開催された。出品点数は280点、入選数は140点という厳選であった。作品の質は次第に向上し、見ごたえのある作品が多くなった。特に記念大賞の中尾勝子氏の作品は記念賞にふさわしい見事な優秀作であった。

(審査員) 田中 双鶴、田中 栢翠、富永 眉峰

(第25回記念大賞) 中尾 勝子

(博美賞) 豊田佳代子

(優秀賞) 瀬藤 豊子、山口佳代子、炭谷 嘉子、永松 照美、亀石 二三、  
藤井 真澄、大松 洋子、隅田 英二、小井田境子

### ◎第39回県美術展 (書道 11/17~21)

出品点数は、昨年を86点上廻り、1082点という県展史上最高を記録し、書道人口の増加と、その底辺の広さを示した。その中から466点が入選し、特選12点、準特選21点、秀作70点が選出された。

作品の傾向は大作制作へと移行し、縦長の2×8作が主流となり、見ごたえのある作品が多くなったことは力強い。

(審査員) 荒井 天鶴、田中 双鶴、田中 栢翠、富永 眉峰

(特 選) (漢字) 島田 小園、山口 華城、武市 鳴雲

(仮名) 藤若 美風、下村 清子、広島 章子、松田 友栄、相城 巖鷗  
中尾 勝子

(近代詩文) 豊田 乾香、永松 春苑

(前衛) 竹内 秀翠

(準特選) (漢字) 山本 寛水、隅田 英二、佐藤 真堂、寺内 喜峰、岡田 華苑

(仮名) 松本 清香、佐々木翠峰、龜石 文苑、西浦 智瀬、西尾 恵花  
富久 鳴泉、小出 圭子、中西 甫子、宮城 明子、東 弥生  
光井 明美、山中 真紀

(近代詩文) 佐原 和清、庄野 もと、浜 佳香

(前衛) 田中 秀翠

(秀作) 近藤 聖邨 外69名

### ◎第18回県芸術祭

・書道の参加行事は16種、協賛行事1種で、何れも充実して盛大に華を争い妍を競った。

#### ・参加行事

第7回泉心会書作展(県郷土文化会館、8/29~9/2)

第13回徳島雪心会書作展(同上、8/29~9/2)

第14回直心会書展(市シビックセンター、9/7~9)

書人会主催第10回克展(同上、9/14~16)

第5回書研社展(同上、9/21~23)

第5回文化書道徳島県連合会書道展(県郷土文化会館、10/9~10)

第31回徳島書芸院現代書展(同上、10/10~13)

第8回大日本書芸院徳島連合展(同上、10/12~14)

第12回徳島県勤労学徒美術作品展(同上、10/20~21)

第19回清潮会書作展(同上、10/26~28)

徳島かな書道研究会第9回書作展(同上、10/26~29)

硬筆クラブ藍作品展(県青少年センター、11/6~11)

第14回東玄書道会展(市シビックセンター、11/9~11)

第18回県芸術祭参加硬筆書道展(県博物館、12/1~2)

四国女子大学書道秀美展(県郷土文化会館、12/14~14~16)

第5回臨池書展(同上、12/17~19)

#### ・協賛行事

現代書道連盟役員色紙展(四電相談センター、12/14~16)

#### ・昭和59年度県芸術祭優秀賞

永松 春苑、松下 海翁、熊代 厚子、藤井 春琴、竹田 和代

### <個人消息>

◎中央展・県外展において審査員として活躍し、審査員作品を発表した人々

・第6回青潮会全国展(大阪市立美術館、1/9~11) 高原 清泉、西 南竜

・第25回太玄書展(東京都美術館、1/12~18)

田中 双鶴、春藤 大耿、田村 昇鶴、笹尾 芳石

・書道芸術院展(東京都美術館、2/3~9) 西岡 楚峰

・奎星展(東京都美術館、3/3~9) 田中 栢翠

・第20回創玄記念展(東京都美術館3/6~13)

(一科審査員) 荒井 天鶴、久保 幽香

(二科審査員) 成尾 莊秀

(学生審査員) 岸 潮風

- 第38回日本書芸院展(大阪市立美術館、4/15~19) 勝瀬 景流
- 第6回日本書道学院展(東京都立産業会館、4/28~5/1) 勝瀬 景流
- 第8回由源社全国展(大阪国際見本市会館、5/19~21)
- 第20回全関西現代書展(京都市美術館、5/31~6/3)
  - (一科審査員) 荒井 天鶴、久保 幽香
  - (二科審査員) 長原 皐鶴、三木田栖鶴、大松 碩城、中山 青葉
  - (三科審査員) 久米 聰香、浜 佳香
- 第36回毎日書道展(東京都美術館、7/11~21) (審査会員) 久保 幽香
- 第6回東京書作展(東京新聞)(東京セントラル美術館、12/4~9) 田中 双鶴
- 第7回青潮会全国展(大阪市美術館、12/18~21) 高原 清泉、西 南龍

◎中央展、県外展において役員として作品を発表した人々

- 大般若経写経展(岡山天満屋、1/3~11) 勝瀬 景流
- 新古今百選展(東京日本書道美術館、1/8~2/12) 勝瀬 景流
- 第6回青潮会全国展(大阪市立美術館、1/9~11)  
島田 小園、福永 美泉、川上 虹泉、三間 好鷺、岡田 華苑
- 日本の書展(東京都美術館、1/30~2/5) 勝瀬 景流
- 第12回日本の書展(東京都美術館、2/3~9) 久保 幽香
- 第20回創玄記念展(東京都美術館、3/6~16)  
大松 碩城、芝原 醒鶴、岸 潮風、栗田 白蓉、荒井 彭仙、青柳 皐陽
- 聖雲会書展(岡山総合文化センター、3/24~25) 勝瀬 景流
- 第6回青潮書道会選抜展(OMM大阪マーチャングラウンド、4/28~30) 高原 清泉
- 第1回現代俳句と書展(東京セントラル美術館、5/29~6/3) 久保 幽香
- 第36回朝陽会書展(岡山総合文化センター6/12~19) 勝瀬 景流
- 第36回毎日書道展(京都市美術館、8/1~5)  
(審査会員) 荒井 天鶴、久保 幽香、田中 栢翠  
(三部会員) 長原 皐鶴、成尾 莊秀、三木田栖鶴、芝原 醒鶴、荒井 彭仙、岸 潮風
- 第8回かな書展(東京日本橋高島屋、8/16~21) 勝瀬 景流
- 第9回日本の女流書展(東京セントラル美術館、8/14~19) 久保 幽香
- 第1回読売書法展(神戸ポートターミナルホール、9/2~11) 勝瀬 景流
- 第7回書道芸術院代表作展(東京セントラル美術館、10/2~7) 西岡 楚峰
- 現代硬筆書芸展(NHK福山放送局、10/7~14) 勝瀬 景流
- 書道芸術院中国展(中国、北京国立美術館、10/19~23) 西岡 楚峰
- 第10回創玄現代書展(東京セントラル美術館、10/30~11/4) 久保 幽香
- 第7回青潮会全国展(大阪市立美術館、12/18~21)  
島田 小園、福永 美泉、川上 虹泉、三間 好鷺、岡田 華苑、長楽 優香

◎中央展、県外展に入賞した人々

- 第6回青潮会全国展（大阪市美術館、1/9～11）

一 科

（特別賞）毎日賞 長楽 優香  
（特選）寺内 喜峰、大平 京蘭、原口 栄香  
（準特選）大下 江波、岩佐 香苑、山本 清香  
（秀作）大梅 溪村、鹿島 翠風、山井 昭果、西岡 美風

二 科

（特別賞）鈴木 虹苑、森 虹村、武内 喜苑  
（特選）西野 鳳果、沖野 光波、郡 信風、森本 虹華  
（準特選）児玉 江泉、岸野 告鳥、橘 照芳、森本 紅鶴  
（秀作）中西 尚泉、松田 寿泉、原 虹彩  
（佳作）江川 栄泉

- 第25回太玄書展（東京都美術館、1/12～18）

第25回記念賞 松田 友栄

会 員

（奨励賞）竹田 和代  
（新人賞）大石加代子、田中美智子、中西 甫子

一 部（準会員）

（推選）桑田 秀子  
（準推選）鈴木 理恵

公 募

（特選）小出 圭子、藤川満里子、小井田境子、古郷 弘江、渡部 利鶴  
（準特選）宮崎三和子、大櫛 一峰、高見 典子、横堀 恵子、島田 翠芳  
須原 理恵、大櫛 明美、西木久美子、田中 映子、立花みゆき  
長田 千尋、坂 青翠、阿部 千秋

- 第38回日本書芸院展（大阪市美術館2/9～12）（特別賞）西岡 詩峰

- 第20回創玄展（東京都美術館、3/6～13）

（一科秀逸）浜 佳香、多田 清芳  
（準二科賞）横谷 清亭、平岡 幽琴、森本 香陽、仁田 香草、武市三奈子  
勝瀬 喜寿子

- 第20回全関西現代書展（京都市美術館、5/31～6/3）

（一科秀逸）坂本 霄風  
（二科賞）岩本 雅三

- 第36回毎日展（東京都美術館、7/11～21）（秀作賞）竹田 香照

- 第16回日展（東京都美術館、11/3～29）（入選）勝瀬 景流

- 第1回読売書法新鋭展（東京都美術館、12/10～16）（奨励賞）西岡 詩峰
- 第1回日本かな書道会展（東京都産業貿易センター、12/9～15）（特選）勝瀬 景流
- 第7回青潮会全国展（大阪市立美術館、12/18～21）

（準大賞）島田 小園

一 科

（特別賞）寺内 喜峰

（特選）原口 栄香、大平 京蘭、大下 江波

（準特選）鹿島 翠鳳

（秀作）西岡 美鳳、森 虹村

（佳作）西野 鳳泉

二 科

（特別賞）森本 清峰

（特選）米本美恵子、森本 紅鶴

（準特選）児玉 江泉、橘 照芳

（秀作）笠井 吉泉、岸田 英鳳

（佳作）花田 千恵

◎個 展

- 田中双鶴書作展（徳島市シビックセンター、6/15～17）
- 上田溪水書作展（徳島市シビックセンター、7/28～8/1）

◎海外展

- 久保 幽香（東玄書道会）

アメリカ、ワシントン州、レアルト市ウェスティホテル・ウワジマヤ（68点）（3/22～25）

- 第1回オーストラリア、ニュージーランド展 田中 双鶴

オーストラリア展

オーストラリア、シドニー市タウンホール（ロウアーホール）（12/3～5）

ニュージーランド展

ニュージーランド、オークランド市オークランド博物館（12/7～10）

（お詫び）昨年度の年報で第38回県美術展の記事中（鑑別委員）で、西岡楚峰、長原卓鶴の名前が脱落していましたのでお詫びいたします。（事務局）

# デザイン部

部会長 坂本 三千一

## 年間展望

会員増にどう取組むか。県展出品者を増やすにはどうしたらよいかは我が部の大きな目標の一つとなっています。

県展審査員にしても名前だけの発表でどんな人なのか、どういう作品を作っている人だろうか出品予定者にとっては関心が高い事と考えられます。出品者によくわかるようにすべきとの結論のもとに第2回部会展で試みる事になった。

審査員の作品を一堂に集めて県展審査の前、出品予定者に観てもらおう試みは他の部では今まで無かったようだ。今回(39回展)の審査員は東京で活躍されているグラフィックデザイナー・長友啓典氏である。

毎年審査員を内定するまでに大変な苦勞がいる。4人目ようやく氏に決まった。前回審査をお願いした田中一光氏に紹介いただきやっと決定することが出来た次第。

第2回部会展は審査員長友氏の代表作10点を借用、部会員の作品12点と合わせて県展審査前の10月4日から一週間展示し好評を得た。

展示された10点は徳島のデザイン活動のために役立てて下さいと寄贈される事になり部会では大切に管理し今後どう活用するか検討中である。

39回県展は一応の目的を果たすことが出来たと考えます。出品数68名81点で昨年は45名51点。じり貧であった出品点数も80点を確保する事が出来たが今後の部会の取組みによっては減少する可能性を含んでいる。以上の活動の中で二人が会員に一人が都合で退会する事になったが特筆すべき事に新会員の坂野美恵子さんが「二科展」で入選。斎藤繁次君が個展を開いた。

### <会員消息>

#### ●第39回県展デザイン部門

特選=斎藤 繁次・坂野美恵子

入選=吉本 実・田中 一郎・井上 稔・福家 治

無鑑査出品=浅野 昌哉

特別出品=坂本三千一

#### ●長友啓典+第二回徳島デザイン展(部会展)

第39回展審査員の作品10点と会員作品。

出品者=浅野 昌哉・井上 稔・田邨 哲男・中山 清子・福井 章・増田 伸寛  
宮本 光夫・岩佐 雅功・斎藤 繁次・坂本三千一・吉本 実・田中 一郎

#### ●第25回博美展デザイン部門

優秀賞=斎藤 繁次

入選=岩佐 雅功

審査員＝坂本三千一・福井 章・浅野 昌哉

●第13回徳島市文化展商業美術部門

出品者＝吉本 実・岩佐 雅功

選考委員＝坂本三千一・福井 章・田中 一郎・宮本 光夫

●59年度徳島県秀作巡回展（デザイン）

増田 伸寛・吉本 実・斎藤 繁次・田中 一郎

●第14回レタリングクラブ展

出品者＝岩佐 雅功

●第3回イラストレーターズクラブ展

出品者＝坂野美恵子

●斎藤繁次イラスト展（個展）

●二科展（デザイン）—東京—

入 選＝坂野美恵子

## 第39回徳島県美術展(県展)公募規定

部門 区分	日本画	洋画	写真	彫塑	美術工芸	書道	デザイン
搬入日	10月21日	10月20日	10月14日	10月21日	10月21日	10月14日	10月21日
搬入先	徳島県郷土文化会館						
審査日	10月21日	10月21日	10月14日	10月21日	10月21日	10月15日	10月21日
審査員	下田 義寛	斉藤 真一	高田 誠三	城田 孝一郎	山下 恒雄	荒井天鶴・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	長友 啓典
出品料	協会員 1点目 1,500円 その他の方 1点目 2,500円 ・2点目からはすべて 1,000円						
出品制限・大きさ・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>未公開作品に限る</li> <li>点数は制限なし</li> <li>小・中学校在学者は出品できない</li> <li>20号以上 100号まで、横幅2m以内、額・枠張り(ガラス不可)</li> </ul>	同左	同左	同左	同左	同左	同左
入賞	特選 3点 準特選 2点 入選 若干名	特選 5点 準特選 5点 入選 若干点	特選 8点 準特選 12点 入選 若干点	特選 1点 準特選 2点 入選 若干点	特選 3点 準特選 2点 入選 若干点	特選 12点 準特選 21点 入選 若干点	特選 3点 準特選 2点 入選 若干点
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。</li> <li>展示作品は第1期・第2期の会期終了後、決められた日時までに搬出すること。</li> <li>所定の期日までに搬出しない場合は、主催者において処分する。</li> </ul>						



招待・無鑑査・特別出品者名 (\*は都合により不出品)

☆ 日本画

待) 雪子夫弘夫健溪 男 潮有人  
 (招) 上尾野本 凌弘行正靖 秋 和 春何春 曉  
 村) 野本 野 野 野 野 野 野  
 長) 野本 野 野 野 野 野 野  
 荻) 野本 野 野 野 野 野 野  
 橋) 野本 野 野 野 野 野 野  
 \* 田) 野本 野 野 野 野 野 野  
 中) 野本 野 野 野 野 野 野  
 矢) 野本 野 野 野 野 野 野  
 (無鑑査) 野 野 野 野 野 野  
 (特別出品) 野 野 野 野 野 野  
 \* 後高山

☆ 洋画

待) 志二典雄史孝等敬巖幸裕久 男 郎 雄  
 (招) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 佐) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 永) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 \* 清) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 泰) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 中) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 川) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 楠) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 高) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 立) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 露) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 服) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 長) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 (特別出品) 野山水 比隆 文隆 康 敏 弘 秀 太 公  
 \* 桜河平長

☆ 写真

待) 島田 正清 仁次  
 (招) 島田 正清 仁次  
 福) 島田 正清 仁次  
 増) 島田 正清 仁次

雄之二夫梵亨雄魏司義 弘久彦  
 光英征雅 敏 博和 泰芳敏  
 上田条西井内田 淵井好 查) 村浦  
 井木西勝藤武笹 櫛酒三 (無田前林)

☆ 彫塑

待) 崎藤津口下田 查) 永 東  
 (招) 河佐大浜井 鎌 (無鑑査) 永 東  
 \* 坂

☆ 美術工芸

待) 床居橋 条花下 上  
 (招) 釜新高森森七多松 (無鑑査) 上  
 \* 堀 高

☆ 書道

鶴鶴翠峰 峰香州泉人雨鶴泉龍秀石幽月鶴鶴舟月賀歌風子峰流泉鷺苑水翠 代子仙  
 天双栢眉 楚幽藍泰三青阜清南莊草清霄栖醒古桂幾大潮史美景虹好静溪溪 和順彭  
 員) 井中中永待) 岡保居岐 井原原 尾辺江田田原川水馬藤 谷谷瀬上間藤田下 查) 田島井  
 (審) 荒田田富 (招) 西久新讚仲官長高西成渡長原三芝前清美春岸中長勝川三近上日 (無鑑査) 田島井  
 \* 木

☆ デザイン

(無鑑査) 野 昌 哉  
 (特別出品) 坂 三 千 一

博美展博美賞受賞者一覽 (昭和41~59)

年度	回	日本画	洋画	写真	彫塑	美術工芸	書道	商業美術 (デザイン)
41	7	西岡範子	高橋敬	平山成美	細川直毅	森浩	長原卓鶴	
42	8	中川健	長條公	吉田紀夫	神原八重美	"	長江清幽	
43	9	天羽成芳	浜正寛	中西定雄	谷村薰子	長條公	渡辺草石	
44	10	片岡良治	板東弘	川上健司	小野寺穰	大西光	成尾莊秀	
45	11	長谷寿	"	原田敏雄	松永勉	松下雄介	芝原醒鶴	
46	12	真鍋学	霜田精	"	霜田精	"	喜多村成	
47	13	"	関政明	隅地通雄	玉田修平	"	中口美智子	
48	14	今川一水	小梯薫	矢口保二	吉田伯美	"	田中勝子	糸井由美子
49	15	大久保雅生	岡久薫	吉田正勝	井藤信正	"	中尾勝子	永井道子
50	16	釣島冬樹	真野孝彦	大西健一	露口幾也	"	久米聴香	森波美香
51	17	吉崎進	矢本次郎	小池良洋	美濃和子	多智花佐代子	山本寛水	森田伸昌
52	18	大久保雅生	四官久子	湯本一	榎本宏子	香川文孝	大松静子	増田昌哉
53	19	小松久子	島川清子	東条かつこ	中岡陽子	"	佐野天靖	浅野井道子
54	20	日浦猛史	四官久子	森条かつこ	伊勢洋子	松下慶一	長谷頌石	永竹森陽
"	"	大賞	西野和男	岡田守	東条かつこ	多智花佐代子	鈴木郁子	竹森和夫
55	21	中西芳雄	宮本陽子	林敏彦	瀬部瑞城	香川文孝	武市鳴雲	増田和夫
56	22	佐々木文子	藤川明子	"	(該当者なし)	松下慶一	佐原和清	田村千代子
57	23	金子綾子	"	"	井上史朗	日浦久代	表原輝実	寺本礼子
58	24	中川正志	"	尾崎孝幸	瀬部瑞城	山本和子	広島章子	藤本孝明
59	25	井原順子	森史人	田村泰弘	佐藤敬子	原田史郎	豊田乾香	加島由季
"	"	大賞	林伸也	佐治孝	蒔田寿	松下慶一	中尾勝子	猪井秋人

## あ と が き

昭和59年度美術年報をおとどけします。

表紙は洋画部の榊田務氏からいただきました。

また、例年どおり各部長から各部に関する動きをご執筆いただきありがとうございます。

県展も39回展が終了し、昭和60年度は40回展ということになります。長い歴史の中には、いろいろな事があったことと思いますので、記録をおもちの方など原稿をおよせいただければ幸いです。

昭和60年が飛躍の年となるよう、会員の皆様と力をあわせて美術界の発展のために努めたいと思いますので、皆様にも健康で創作活動に励まれますよう心からお祈りします。

昭和60年3月

県美術家協会事務局

昭和60年3月20日 印刷

昭和60年3月25日 発行

編集者 清水 博

装幀者 榊田 務

発行人 河野 太郎

印刷所 原田印刷出版株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市城ノ内1  
県立図書館内 TEL52-3151